

事業評価手法にかかる国民からのご意見について(1/2)

意見・提案の募集概要

9月19日より一般の皆様及び都道府県知事・市町村長を対象に

- ①道路行政について改善すべき点
- ②地域の現状と抱える課題と目指すべき将来像
- ③道路施策として重点的に取り組むべき事項

などについてご意見・ご提案を募集。事業評価についても、一般の皆様(各種団体含む)や都道府県知事・市町村長から数多くのご意見を頂いているところ。

< 対象 >

< 今回の取り組み >

一般の皆様

○記者発表と併せてホームページを開設しご意見・ご提案を募集
(自由回答)

都道府県知事
市町村長

○記者発表と併せて文書により募集(自由回答)

事業評価手法にかかる国民からのご意見について(2/2)

◆事業評価手法にかかる国民からのご意見・ご提案 : 約70件

主なご意見	対応方針
<p>○評価手法のあり方に関する事(約40件)</p> <ul style="list-style-type: none">・費用対効果基準は単なる交通量などではなく、地域経済・地域医療体制・災害時の物的・人的輸送などの観点からの評価も必要。・費用対効果を重視されて判断されていますが、生活の殆どを車に依存する地域に住む地方にとっては、経済性のみで判断することは納得出来ない。・整備の優先順位の決定方法が不明確。総合的に判断というものではなく、全国共通な数値による点数付けをして整備順位を明確にしてほしい。	<p>事業評価手法のあり方について引き続き検討。</p>
<p>○厳格な事業評価に関する事(約10件)</p> <ul style="list-style-type: none">・経済効果等考えて、計画中でもやめるべきはやめること。・いいかげんな費用対効果の算定により、ムダな公共施設整備がいまだに進められている。	<p>厳格な事業評価の実施を徹底。</p>
<p>○透明性に関する事(約10件)</p> <ul style="list-style-type: none">・必要と思われる道路の優先順位を決めるための選定基準が明確になっていない。第三者が見ても解りやすい形の表現で公表すべき。・地域住民が検討するにあたって、行政がもっているさまざまな調査の成果や費用便益の算定プロセス等は不可欠の資料であり、現地の役所において積極的に開示すべきである。	<p>評価結果及びバックデータについては、HPにて公表しており、引き続き透明性の確保に努める。</p>